

「丹後地域における主な課題と対策について」
(平成30～35年度)の見直し(案)の枠組み

項目(新しい枠組み)	主な課題等
1 医療従事者の確保、定着、資質の向上	・医療従事者の不足
2 介護・福祉人材の確保、定着、資質の向上	・介護・福祉人材の不足
3 がん	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域死亡原因 第1位：がん。死亡数(H27年：413人) 第2位：急性心筋梗塞。死亡数(H27年：261人) 第3位：脳卒中。死亡数(H27年：153人) ・検診受診率の向上、治療体制の整備、在宅療養・緩和ケア体制の整備 ・健康づくり活動、病病連携・病診連携の推進、リハビリ体制の整備
4 脳卒中	
5 急性心筋梗塞	
6 糖尿病	
7 精神疾患	
8 小児医療(小児救急含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科医の安定的・継続的な確保、地域偏在の解消、心理職等の人材確保 ・小児のリハビリテーションを専門に対応できるセラピストの不在、発達障害の専門外来がない。
9 周産期医療	<ul style="list-style-type: none"> ・産科医の安定的・継続的な確保、地域偏在の解消 ・不妊治療等に対する支援、教育
10 救急医療	・救急医療体制、救急搬送体制の拡充
11 災害時医療	・停電時における人工呼吸器等を使用している患者の安全確保
12 へき地医療	・医師確保対策の継続
13 地域包括ケアシステムの推進	
(1) 地域包括ケアシステムの推進について	<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた地域で安心してくらせるよう、医療・介護・福祉サービスを一体的に提供できる体制を整備 ・医療・介護にかかる人材の確保、定着、資質向上(再掲)
(2) 在宅医療	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の高齢化、訪問看護師、介護スタッフの不足 ・病病・病診連携の充実 ・本人、家族の意向に沿った多様な場での医療や介護を柔軟に選択できる環境と体制の整備
(3) 認知症対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・初期からのとぎれない支援体制、認知症高齢者と家族が安心して暮らせる地域づくり ・認知症(若年含む)に対する正しい理解の普及・啓発・支援
(4) 地域リハビリテーション対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ提供機関等の中での情報共有、連携体制の推進(リハビリ資源の少ない地域への支援) ・丹後圏域地域リハビリ支援センター事業の充実
1.4 歯科保健対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・30～40代のむし歯未処置数が、府平均の3倍であり、また50歳代の現在歯数が少ない。働き盛り年代層の歯科健診・口腔保健指導の普及 ・学童期以降のう歯保有率が急増。学校教育における食育と連動した口腔機能の維持向上